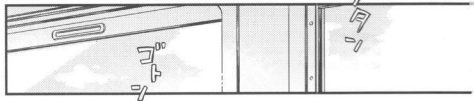




The basket...ll which Kuroko plays. FANBOOK#35  
Murasakibara:Kuroko / presented by.dankou villeda



- ☑卒業を控えた大学4年生な紫黒
- ☑帝光時代捏造してます
- ☑一部出血描写があります

ラスゲの紫原君のかわいさや交代シーン紫黒ありがとうございます  
熱がぐわっとなって描いた話なので  
紫原君の感じがアレだったりするのはいろいろとお察しください。



無断転載・複製・ネットオークションやフリマアプリへの出品等の行為を禁じます。  
また、実在の企業、出版社、公式様とは一切関係ありません。



黒ちゃん  
まだ？



忘れしました

そんなメモ書き  
なんか見ないで  
スマホでルート  
出しないよ

最悪



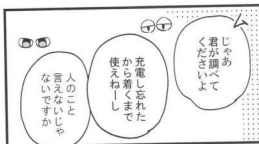
待って  
ください

えっと、

××行きに  
乗換だから...

...それ  
あっちのホーム  
じゃない？

本当ですね



じゃあ  
君が調べて  
くださいよ

充電し忘れた  
から着くまで  
使えねーし

人のこと  
言えないじゃ  
ないですか



ゆつくりしてたら  
乗り過こしちゃう  
でしょ

誤魔化し  
ましたね

はいはい  
いいから  
行くよ



君…実は  
来たこと  
ありますか？

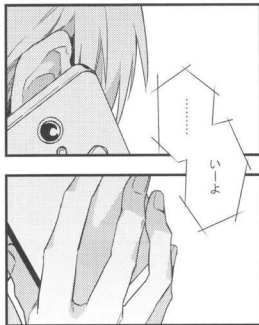
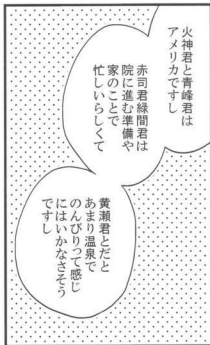
足音ニ  
迷がたか...

黒ちゃんが  
方向音痴すぎる  
だけだし！

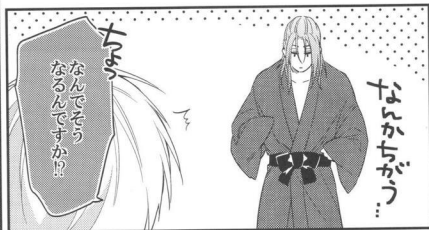
偶然というのは  
時に都合よく  
舞い降りて  
くるらしい



温泉旅行？









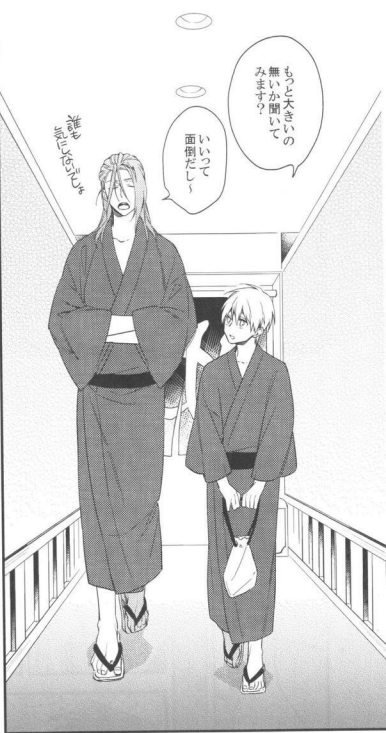
もっと大きいの  
無いか聞いて  
みますか？

いいって  
面倒だし

誰も  
まじまじじや



まあ  
いいけど  
さ

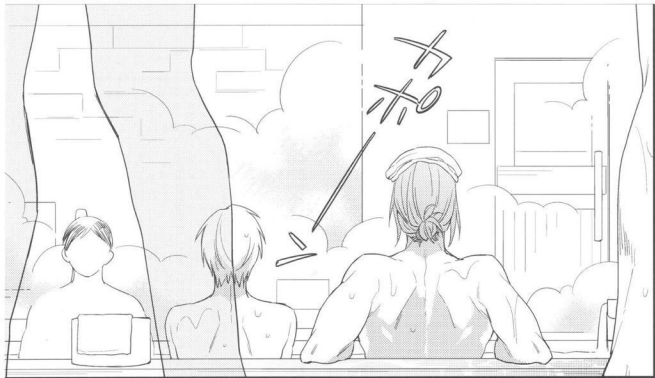


それよか  
なんで大浴場  
行くわけ？

部屋に露天  
ついてたじゃん

旅館に来て  
おっきいお風呂  
入らないで  
どうします

どうも  
しねーし

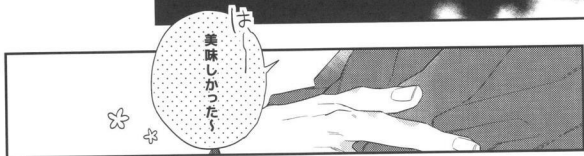




カホー

…夜は  
部屋風呂に  
しよう

だったら  
気にしないで  
いーし



ほ  
美味しかった

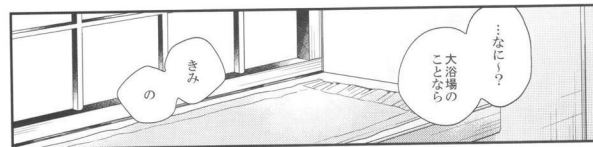


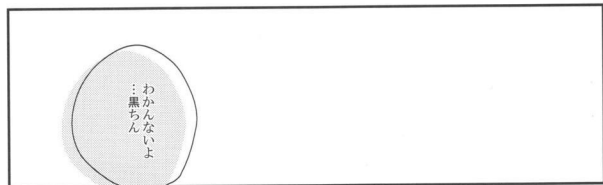
まあね  
オレも  
お腹いっぱい

手伝って  
助かりました

はい  
旬の物が  
たくさんあって  
ちょっと  
量が多くて  
大変でしたが…







あの頃のボクらは  
とても仲が良くて  
バスケット以外は  
気が合ったから  
一緒にいることも  
随分と多かった

いつの間にか

少しずつ触れ合う  
ようになっても  
そこに

大した疑問はなく

何より

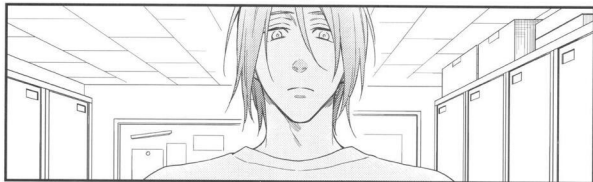
子どもみたいに  
素直な彼が可愛くて

……だから

ボクが彼に  
ゆるしてしまうのも

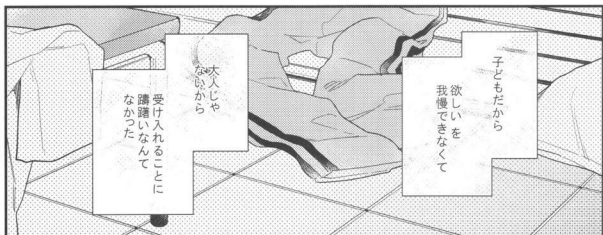
ひどく自然なこと  
だった気がする

いいですよ









子どもみたいな  
気安さで  
大人みたいな  
ことをした





そうして  
あの日の恋は  
すっかりなかつた  
ことになつた







…黒ちゃんはもう二度と

オレと二人っきりになんてなりたくないと思つてた



……は、



けどオレがそうやって迷つてたらいつの間にかただの友だちみたいになんて遠くなつて

なのに黒ちゃんは平気な顔して過ごしてるから……

まって  
待って  
ください



…何ですかそれそんなのボク一言も言ったことないですけど

むしろあれから距離を置いてくるようになったのは君じゃないですか

はうオレが嫌がる側なのおかしいでしょ

…まあすぐには何事もなかつたみたいに触れるなんて無理だったけど

…罪悪感だつて

平気な顔  
つて  
ボクは  
ただ

君は忘れて  
しまいたい  
のかと思つて

…何  
言つてんの？



忘れたかったら  
誘われたって今更  
旅行なんて来ねーし

前の日に  
考えすぎて  
夜更かしも  
しないでしょ

…今だって



こうやって  
ひとり  
悶々する  
こともなく

朝まで  
ぐっすり  
眠ってたよ



あの  
ボク嘘  
つきました

えっ…



黒ちゃん!!  
えっちゃん?  
なんで立くの!?

すみません  
びっけりして…



!? ポロ…







オレ  
赤ちゃんに  
言ってるない  
けど…

…うん



だから  
君を  
誘って



君の  
卒業後の進路  
アメリカ  
なんでしよう



は…あ？  
何それ…



君がもっと  
遠くに行つて  
それでも  
まだこの心を  
持ったままでは

生きていくのに  
苦しいだろうから



この旅行で  
一緒に過ごせたら  
— そうしたら

君を好きな  
この心ごと  
もう思い出に  
してしまおうって





——  
結局



あの日の部室に  
置き去りにしたはずの  
幼い恋は

長い時間をかけて  
少しだけ  
臆病な大人になった

欲しがる心は  
我慢を覚えて

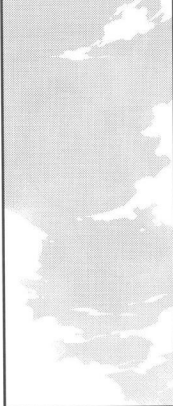
近づくことに  
躊躇いができた

それでも  
とうとうボクたちは  
この「間違い」を  
なかったことにはできなかった













今度は頑張って  
優しくするよ

…また何年も  
我慢するのは  
ごめんだし



え  
どうだろう  
また  
気持ちよくて  
暴走しちゃう  
かも

ちよつと



す



うそ





## LONG LONG detour

The basketball which Kuroko plays.  
Fanbook#35 / 紫原敦×黒子テツヤ

発行/ 2017.05.03 - SUPER COMIC CITY 26  
印刷/ マツモトコミックサービス 様  
■発行ビリア/さつこ  
■<http://stkkkkk21.web.fc2.com/>  
■[@satlink0](https://twitter.com/satlink0) ■ [pixiv\\*973610](https://www.pixiv.com/users/973610)

